授業科目名	まちづくり論Ⅰ（Town and Community PlanningⅠ）	大学名	帝京大学
科目区分	VU 連携講座	開講時期	前期
学部・学科等	経済学部地域経済学科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	２年	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	帝京大学
担当教員名	金子　弘道		
電話番号（代表者名）	028-627-7198	e-mail アドレス	hkaneko@ucre.teikyo-u.ac.jp
オフィスアワー	未定		
授業の概要	〈授業の目標〉 まちづくりは住民自らが「住みよいまち」をつくることが基本です。行政に依存せず、住民が協力してまちをつくっていく「内発型のまちづくり」が求められます。この授業では、まちづくりの理論や制度のほか、全国各地の地域資源を活かしたまちづくりの事例を学び、住民主導のまちづくりについて自分なりの見解を持てるようになることを目標にします。 〈授業の概要〉 まず、まちづくりの法令や仕組みなどを学習します。その後、街並み保存、食と農（地産地消）、環境、観光など地域資源を活かしたまちづくりの事例を学びます。最後にまちづくりの効果的な政策などを考えます。行政と住民との協働についてはまちづくり論Ⅱで学習します。 〈準備学習〉 ① 授業の資料はＬＭＳからダウンロードして予習、復習してください。 ② 新聞やテレビ、インターネットで地域産業関連のニュースをチェックしてください。 ③ 授業では産業集積地など全国の地名が登場します。地図帳などで調べる習慣をつけてください。 ④ 授業では毎回、質問票を配布しますので、疑問に思ったところを記述、提出してください。 〈授業計画〉 第１回　ガイダンス 第２回　まちづくりとは何か 第３回　まちづくりの体系 第４回　まちづくりの法令 第５回　まちづくりの仕組みと組織 第６回　地域の価値発見と創造～内発型まちづくり 第７回　中心市街地の活性化～まちづくり３法 第８回　人口減少社会とコンパクトシティ 第９回　公共交通機関とまちづくり 第 10 回　街並み保存型まちづくり 第 11 回　食のまちづくり 第 12 回　環境まちづくり 第 13 回　観光まちづくり 第 14 回　むらづくりと～中山間地を事例に 第 15 回　全体のまとめ 〈教科書・参考書・教材と入手方法〉 特定のテキストは使用しません。毎回プリントを配布し、それに沿って授業を行います。 参考文献:『まちづくりの実践』（田村明著、岩波新書）、「農産村は消滅しない」（小田切徳美、岩波新書） 〈成績評価法〉 レポート、質問票の内容、定期試験などを総合的に評価します。詳しくはガイダンスで説明します。		